

早稲田大学大学院商学研究科 修士課程（一般）入学試験要項 2027年4月/9月入学

目次

| | |
|-------------------|------|
| 1. 出願 | p.3 |
| （1）募集人員 | p.3 |
| （2）出願資格 | p.3 |
| （3）出願日程 | p.4 |
| （4）入学検定料 | p.4 |
| （5）入学検定料返還および免除制度 | p.5 |
| （6）出願書類作成上の注意 | p.6 |
| （7）出願書類一覧 | p.6 |
| （8）受験票 | p.9 |
| 2. 入学試験 | p.9 |
| （1）選考日程 | p.9 |
| （2）選考方法 | p.9 |
| （3）試験における注意事項 | p.9 |
| 3. 入学手続 | p.10 |
| （1）入学手続締切日 | p.10 |
| （2）入学手続書類 | p.10 |
| （3）留学ビザ | p.10 |
| （4）入学金・学費・諸会費 | p.11 |
| （5）奨学金制度 | p.11 |
| （6）教育職員免許状 | p.11 |
| 4. 受験上の注意事項 | p.12 |

この「入学試験要項」では、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、スマートグラス、ワイヤレスイヤホン等（Bluetooth、Wi-Fi、データ通信等、日時・時刻以外の情報を送信、受信、または送受信が可能な機能が搭載された機器）をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

<個人情報の取扱いについて>

本学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

早稲田大学大学院 商学研究科商学専攻のポリシー

1 学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

早稲田大学の総合性や伝統を生かし、多様な学問の知識を教授することにより、グローバル化する社会において主体的に貢献できる人材を育成する。とくに商学とその関連領域についての高度にして専門的な学術の理論及び応用についての研究と教授を行い、その深奥を究めることによって、広い視野と的確な判断力を備えたリーダーとなるべき学生の教育に努める。

修士課程においては、専門分野に関して、精深な学識を受け、研究者または高度専門職業人に必要な能力を養成する。博士後期課程においては、自立した研究者として研究活動を行うために必要となる能力と学識を備えた学生を育成する。上述をふまえ、商学研究科では、各課程の修了時に身につけておくべき能力を以下のように定める。

【修士課程】

学修成果 1：自らの専門領域に関する専門知識および分析技法を修得している。

学修成果 2：研究を進めるにあたって必要なコミュニケーション能力を有している。

学修成果 3：専門領域における内外の学術研究を理解している。

学修成果 4：独自性のある研究を実施できる。

【博士課程】

学修成果 1：自らの専門分野に関する極めて深い知識と高度な分析能力を備えている。

学修成果 2：国内外の研究者と研究上必要なコミュニケーションがとれ、自らの研究成果を適切に発信できる。

学修成果 3：専門領域における内外の学術研究を踏まえて、自らの研究を遂行できる。

学修成果 4：自立した研究者に期待される高いレベルの研究を実施できる。

2 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本研究科では、経営管理（経営専修、マーケティング・国際ビジネス専修、金融・保険専修）、会計（会計専修）、産業・経済（理論・計量専修、公共政策・経済史専修）の3コース6専修を置き、それぞれのコースまたは専修を中心としながらも、広く商学全般について研究、教授を行う。

修士課程における講義科目は、学生が多角的な研究方法を学ぶとともに、専門分野に関する基礎から応用までの知識を獲得することにより、修士論文作成のための土台を形成できるように構成される。演習科目は、講義科目よりも専門的な教材を使用し、修士論文作成のための研究テーマ設定、研究方法の習得を可能とするように構成される。また、教員と学生および学生同士の議論を通して、研究に関する知的スキルを練磨する場としての役割も担う。研究指導においては、学生が選択した研究テーマに関して、教員から個別の指導・助言を与えるとともに、学生同士の議論を通して、より論理的かつ説得力のある研究成果をまとめ上げる場を提供する。

博士後期課程における演習科目は、学位論文作成のための研究テーマ設定、研究方法の習得を可能とするように構成される。また、教員と学生および学生同士の議論を通して、研究に関する知的スキルを練磨する場としての役割も担う。研究指導においては、学生が選択した研究テーマに関して、教員から個別の指導・助言を与えるとともに、学生同士の議論を通して、より論理的かつ説得力のある研究成果をまとめ上げる場を提供する。また、学生に、指導教員の研究指導に基づき、十分な時間を割いて学位論文の完成に専念することを求める。

3 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科では、高度専門職業人あるいは、高度な研究活動を自立的に行う研究者を育成するために、研究を遂行するうえで必要な高い基礎学力を備え、知的好奇心が旺盛で、本学の理念である進取の精神に富む勉学意欲の高い学生を、わが国をはじめ世界各国から迎え入れる。

このような理念のもとで、修士課程入学者の資質については、商学分野に関する学士相当の基礎知識および研究能力を有しているとともに修士学位論文作成に向けた問題意識および、研究に真摯に取り組む姿勢があることが求められる。博士後期課程入学者の資質については、商学分野に関する修士相当の専門的知識および自立した研究者を目指すために必要となる研究能力を有しているとともに博士学位論文作成に向けた問題意識および研究に真摯に取り組む姿勢があることが求められる。

上記の方針に基づき、以下の入試による選抜を行う。

【修士課程】

一般入試では、学士学位に相当する商学に関する基礎知識および研究能力を有し、自ら課題を発見したうえで調査・分析を行い一定の結論を導き出すことができる学生を世界各国から受け入れる。そのため、専攻分野に関する記述式の筆記試験および面接審査を基に総合的に評価する。

推薦入試では、本学商学部生および本学他学部生を対象に、修士学位論文作成に向けた問題意識、研究に真摯に取り組む姿勢を持つ学生を受け入れる。そのため、研究計画書を含む書類審査および面接審査を基に総合的に評価する。

特別推薦入試では、本学商学部の卒業生を対象に、実務経験等から得られる修士学位論文作成に向けた問題意識、研究に真摯に取り組む姿勢を持つ人材を受け入れる。そのため、研究計画書を含む書類審査および面接審査を基に総合的に評価する。

【博士後期課程】

一般入試では、専門領域における内外の学術研究を理解したうえで、独自性のある研究を実施できるようになるために必要な研究能力を有する学生を世界各国から受け入れる。そのため、修士学位論文および研究計画書を含む書類審査と面接審査を基に、自らの専門領域に関する修士相当の知識および研究能力、研究を進めるにあたって必要なコミュニケーション能力を総合的に評価する。

1. 出願

(1) 募集人員

80名以内

(2) 出願資格

下記①～⑥のいずれかを満たす者。

- ① 大学を卒業した者、または本研究科入学までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、または本研究科入学までに授与される見込みのある者
- ③ 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、または本研究科入学までに修了見込みの者
- ④ 外国の大学やその他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、または本研究科入学までに授与される見込みのある者
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者
- ⑥ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

*「外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者」とは、「日本国外の正規の学校教育における「16年目の課程」を修了した者」という意味です。16年間教育を受けたかではなく、「16年目の課程を修了しているかどうか」で判断します。

*初等～高等教育までの正規の課程の年数が16年未満の国の課程を修了した方は、事前に学歴の審査を行います。学歴確認フォーム」を下記のサイトからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、本研究科までお問い合わせください。

・学歴確認フォーム ダウンロードサイト

<https://www.waseda.jp/inst/admission/en/graduate/japanese/>

・問い合わせ先メールアドレス

gsc-ad@list.waseda.jp

***出願期間初日から遡って2年以内に実施された TOEFL iBT70 点以上、TOEIC650 点以上、IELTS (アカデミックモジュール) 5.5 以上**のいずれかのスコアを有していることが出願条件となります。ただし、英語による学士号または修士号を取得し、そのことが卒業証明書または大学からの公式なレター等で確認できる場合は、語学能力証明書（英語）の提出は免除とします。

*最終学歴が中国の大学の専科（3年制）の場合には出願資格はありません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して16年の学校教育を修了した場合は出願を認めます。

※本学（学校法人早稲田大学が設置する早稲田大学その他の学校をいう。以下同じ。）の教員は、本学の学籍を有することができませんので注意してください。ただし、規程上認められている場合もありますので、不明点がある場合は所属箇所事務所を通じて本部にお問い合わせください。

(3) 出願日程

入学検定料の支払いと出願書類の提出・受理をもって出願が完了します。

出願手続のすべてが期日中に完了しない限り、出願を受け付けません。

Ⅱ期入試とⅢ期入試の併願は可能ですが、**出願書類等はすべて再度提出が必須**です。

| | Ⅱ期 (2027年4月入学) | Ⅲ期 (2027年4月/9月入学) |
|------------|---------------------------------------|---|
| 入学検定料支払い期間 | 2026年6月26日(金)～7月3日(金) | 2026年11月9日(月)～11月16日(月) |
| 出願書類提出期間 | 2026年6月26日(金) ～7月3日(金) 23:59 (JST) | 2026年11月9日(月) ～11月16日(月) 23:59 (JST) |
| 第一次試験(筆記) | 2026年9月27日(日) | 2027年1月17日(日) |
| 第一次合格者発表 | 2026年10月1日(木) | 2027年1月21日(木) |
| 第二次試験(口述) | 2026年10月10日(土) | 2027年1月30日(土) |
| 最終合格者発表 | 2026年10月15日(木) | 2027年2月4日(木) |

*一般入試はⅠ期を実施していません。

*入学時期は、出願時に選択(併願不可)してください。出願後の入学時期変更は認めません。

*PC等のデバイスやネットワークの不調により出願期間内に出願が完了しなかった場合も、本学では一切責任を負いません。

(4) 入学検定料

以下の①から③のいずれかの方法で、支払い期間中に必ず入学検定料(30,000円)を納入してください。

①コンビニエンスストアでの支払い(【別紙2】を参照)

- ・ 入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。
- ・ コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話よりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/>)にアクセスをして所定の申込手続を完了させる必要があります。
- ・ 決済完了後、『入学検定料・選考料取扱明細書』の「収納証明書」部分をPDF化し、オンライン出願システム(TAO)にアップロードしてください。
- ・ 支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です(納入最終日は「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機での操作は23:30までとなります)。
- ・ 家族・知人が代理で手続をする場合でも、必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。

②クレジットカード・中国オンライン決済による支払い(【別紙3】を参照)

- ・ クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンもしくは携帯電話等により「インターネット上の支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/card/>)にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。
- ・ 決済完了が表示されたWebページをPDF化し、オンライン出願システム(TAO)にアップロードしてください。
- ・ 支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です(納入最終日は、日本時間23:00までにカード決済を完了させてください)。
- ・ 支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

③外国送金での支払い

- ・ 下記の要領に従い、金融機関より海外送金してください。現地金融機関において別途手数料がかかる場合は、下記金

額とは別に窓口で支払ってください。

- ・ 「外国送金依頼書」のコピーを PDF 化し、オンライン出願システム（TAO）にアップロードしてください。

<海外送金要領>

| | |
|----------|--|
| 送金種類 | 電信送金（Telegraphic Transfer） |
| 支払方法 | 通知払（Advise and Pay） |
| 振込銀行手数料 | 依頼人負担（Payer's Responsibility） |
| 円為替手数料 | 受取人負担（Payee's Account） |
| 送金額 | 32,500 円（入学検定料 + 円為替手数料 2,500 円） 現地金融機関において別途手数料が必要となる場合、この金額とは別に窓口で手続時にお支払いください。 |
| 送金目的 | 入学検定料（Screening Fee） |
| 送金先銀行名 | 三菱 UFJ 銀行（MUFG Bank, Ltd.） |
| 連絡事項 | 志願者本人の英字氏名（Applicant's Name in English） 氏名の前に "35" を必ず記入してください。 |
| 支店名 | 江戸川橋支店（Edogawabashi Branch） |
| 口座番号 | 普通預金 0035967FHL 口座番号欄には数字 7 文字とアルファベット 3 文字を記入してください。 |
| 受取人 | 早稲田大学（Waseda University） |
| 銀行住所 | 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 3-7 （3-7, Kagurazaka Shinjuku-ku Tokyo, Japan） |
| スウィフトコード | BOTKJPJT |

(5) 入学検定料返還および免除制度（【別紙 5】を参照）

一度受理した書類およびお支払いいただいた入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、以下のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。なお、クレジットカードにより入学検定料を納入された場合や、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

- ・ 入学検定料を所定額より多く支払った。
- ・ 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった。
- ・ 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- ・ 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。
- ・ 入国制限・渡航制限により日本に入国できなかったことにより、本学での試験を受験できなかった。

以下のケースに該当する場合は、入学検定料が免除になる場合があります。

- ・ 経済協力開発機構（OECD）の開発援助委員会（DAC）が発行する、「Least Developed Countries」 「Other Low Income Countries」の認定国に居住し、かつ該当国の国籍を有する者は、【別紙 5】「特定国からの志願者に対する入学検定料免除措置制度」を参照し、必要書類を提出してください。
- ・ 本研究科への入学後に国費外国人留学生となる可能性がある者は、出願前に留学センター（in-cie@list.waseda.jp）までご相談ください

(6) 出願書類作成上の注意

- ① **出願締切日を過ぎた書類は一切受け付けません。**
- ② 出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験資格を失うことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認の上、出願をしてください。また、本学から連絡があった時はすみやかにその指示に従ってください。
- ③ 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。
- ④ 提出できる書類は、日本語または英語表記のものに限ります。日本語または英語以外の言語で作成された証明書等は、大使館または国で認可された公証役場等で公証印を受けた翻訳（日本語または英語）を添付してください。
- ⑤ 在日大使館で翻訳公証を行っていない国・地域もあります（中国など）。その場合は、本国内で翻訳公証を受ける必要がありますので、余裕をもって書類を手配してください。

(7) 出願書類一覧

出願および書類提出は、The Admission Office (TAO) から提出（一部直送手配）を行ってください。

TAO については、【別紙 1】を参照してください。所定書式は、本研究科 Web サイトよりダウンロードできます。

| 提出物 | 対象 | 注意事項 |
|--------------|-----|--|
| 顔写真（縦 4：横 3） | 全員 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 出願時から 3 ヶ月以内に撮影したカラー写真（タテ 4：ヨコ 3 の比率・上半身・正面・無帽・無背景・枠なし）をアップロードしてください。なお後述のとおり、入学手続時には出願時と同じ写真のデータ版をアップロードすることとなりますので、カラー写真データは大切に保管しておいてください。 2. マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。ただし、医療上、宗教上の理由で帽子等を着用した写真を提出したい場合は、出願に先立ち、お問合せください。 3. 顔写真は、試験当日の本人確認として使用しますので、スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。 4. 顔写真には加工・修正を施さないでください。 5. スマートフォン等で個人が撮影・印刷された写真は受け付けません。必ず証明写真（スピード写真可）で撮影してください。 6. 入学手続時に学生証用の写真を別途アップロードすることとなりますが、その際は出願時と同じ写真を使用してください。なお入学手続時にアップロードした写真は学生証のほか、学内諸手続における本人確認および学内の各種 Web サービス等に本人情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>提出書類の偽造・虚偽（顔写真の加工・修正等）が判明した場合、不正行為認定の対象となります。</p> </div> |
| 入学検定料収納証明書 | 全員 | <ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料免除対象者は提出不要。 |
| 語学能力証明書（英語） | 該当者 | <ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL (iBT:70 点以上)、TOEIC (650 点以上)、IELTS (5.5 以上) いずれかのスコアを提出。 ・出願期間初日より遡って 2 年以内に受験したもののみ有効。 ・英語による学士号または修士号を取得し、そのことが卒業証明書または大学からの公式なレター等で確認できる場合は、語学能力証明書（英語）の提出を免除とする。 |

| | | |
|--------------------------|-----|--|
| | | <p>【TOEFL iBT】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・My Best scores は採用しない。 ・公式サイト (https://www.ets.org/) より直送手配。 Code:4800 (Department Code の指定はありません) <p>【TOEIC】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル公式認定証の PDF ファイルを TAO に提出。(会員ページのスクリーンショットは不可) ・海外で受験した場合など、デジタル公式認定証が発行されない場合は、認定証を PDF ファイルで TAO に提出。 <p>【IELTS (アカデミックモジュール)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式サイト (https://www.ielts.org/) より直送手配。 |
| 語学能力証明書 (日本語) | 該当者 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本語プログラムで学士号を取得 (見込) でない方のみ提出。 ・日本語能力試験 N1 (旧試験では 1 級) または 日本留学試験 (記述を除いた合計 260 点以上) いずれかのスコアを提出。 |
| 各種証明書 ※P.8 参照 | 全員 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本語または英語で発行されたもの。発行できない場合は、翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書 (原本) と併せて提出。 ・学歴に記載した全ての大学 (学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む) の各証明書を提出。 <p>【中国の大学出身者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業 (見込) 証明書、学位取得 (見込) 証明書、成績証明書、Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate 全て。 |
| 研究計画書 ※所定書式 | 全員 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画書は 2,000 字以内 (参考文献の字数も含める)。 ・研究テーマ (題目) を必ず明示し、具体的に記入。 ・第一志望の研究指導名、指導教員名を記入。 (参照: https://www.waseda.jp/fcom/gsc/applicants/research) |
| 志望理由書 ※所定書式 | 全員 | <ul style="list-style-type: none"> ・志望理由は 500 字程度 ・第一志望の研究指導名、指導教員名を記入。 |
| パスポートのコピー | 外国籍 | <ul style="list-style-type: none"> ・顔写真掲載ページのコピーを提出。 * ない場合、現地 ID (+ 英語翻訳) のコピーを提出 |
| 在留カード両面のコピー または住民票の写し | 外国籍 | <ul style="list-style-type: none"> ・出願時に在留資格を有している方のみ提出。 ・マイナンバーの記載された住民票は提出しないこと。 ・住民票の場合は、在留資格情報が記載されたものを提出。 |
| 留学にかかる経費負担計画書 ※所定書式 | 外国籍 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍であっても、日本の大学を卒業された方は提出不要。 ・本学に留学する間の総費用 (修士課程は 2 年分の学費及び生活費) をどのように負担するのかについて記入。 |

本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍またはパスポート等の公的書類上の性別情報を収集しています。パスポート等の公的書類上の性別が男女のいずれでもない方は、出願に先立ち、【本入学試験要項巻末のお問い合わせ先】までご連絡ください。性別情報が可否に影響を及ぼすことは一切ありません。

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

志望動機やエッセイ、研究計画書等は、本研究科に自分自身について説明する機会となりますので、ご自身で作成してください。生成AIを使用してこれらの書類を作成し、自分で書いたものとして提出した場合、不正行為とみなされる可能性や、選考上の評価に影響を及ぼす可能性があります。

出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。不正行為と認められた場合、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

各種証明書

| 証明書の種類 | 注意事項 |
|--|--|
| 卒業（見込）証明書 | <ul style="list-style-type: none"> ・学歴に記載した全ての大学（学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む）の各証明書を提出。 ・入学・卒業（見込）年月も記載されていること。 ・原本が出せない場合は、大学印が押印されていること。 <p>【中国の大学出身者】 卒業証明書に卒業番号も記載されていること。記載がない場合は卒業証書のコピーを添えること。専科も提出必須。</p> |
| Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate | <p>【中国の大学出身者のみ提出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学歴に記載した全ての大学（学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む）の Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate を 原本直送 <p>※CSSD(https://www.chsi.com.cn/en/pvr/)より、商学研究科事務所 (gsc-ad@list.waseda.jp) ヘメールで直送されるよう手配してください。</p> |
| 学位取得（見込）証明書 | <p>【中国の大学出身者のみ提出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学歴に記載した全ての大学（学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む）の各証明書を提出。 |
| 成績証明書 | <ul style="list-style-type: none"> ・学歴に記載した全ての大学（学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む）の各証明書を提出。 ・複数ページに渡る場合、すべてのページに学校印が押印されていること。 ・在学中のすべての成績が記入されていること。 ・留学をしていた場合は、留学先の成績証明書も提出すること。ただし、本属校の成績証明書に留学先の成績が記載されている場合は提出不要。 <p>【中国の大学出身者】 専科の場合も提出必須。</p> |
| 修了証明書または在籍証明書 | <ul style="list-style-type: none"> ・過去、大学に非正規生として在籍していた場合は修了証明書を提出 ・現在、大学に非正規生として在籍している場合は在籍証明書を提出 ・例えば早稲田大学の場合、一般科目等履修生、日本語教育研究センター、各学部・研究科の交換留学など |

(8) 受験票

出願受付後、出願が受理された志願者に対し、試験日の2週間前までに集合時間および集合場所を記載した受験票を発送します。試験日1週間前になっても受験票が届かない場合は、本研究科事務所までお問合せください。

受験票は入学後学生証の交付時に必要となりますので、大切に保管してください。

2. 入学試験

(1) 選考日程

| | Ⅱ期 | Ⅲ期 | 試験/発表時 | 会場/発表場所 |
|----------------|--------------------|---------------|-----------------|--------------|
| 第一次試験（筆記） | 2026年9月27日（日） | 2027年1月17日（日） | 10:00～ 12:00 | 早稲田キャンパス |
| 第一次試験 合格者発表 | 2026年10月1日（木） | 2027年1月21日（木） | 10:00～ | 本研究科 Web サイト |
| 第二次試験（口述） | 2026年10月10日 （土） | 2027年1月30日（土） | 10:00～ | 早稲田キャンパス |
| 最終合格者 発表 | 2026年10月15日 （木） | 2027年2月4日（木） | 10:00～ | 本研究科 Web サイト |

*本研究科Webサイト: <https://www.waseda.jp/fcom/gsc/>

(2) 選考方法

第一次試験（筆記）および第二次試験（口述）

*第二次試験（口述）は、筆記試験合格者のみ受験可能

(3) 試験における注意事

- ① 筆記試験は9題の問題のうち2題を選択し、解答してください。少なくとも1題は自分の志望する研究指導が属する専修・領域の問題を選択してください。専門科目の答えは第二次試験の参考資料にします。
- ② 筆記試験の出題範囲は、本研究科 Web サイト「試験科目と出題範囲」をご参照ください。
<https://www.waseda.jp/fcom/gsc/applicants/admission/master>
- ③ 筆記試験合格者には、口述試験の集合時間や集合場所等が記載された通知を交付します。
- ④ 国外出願者で、試験に際してビザが必要な国籍の方は、できるだけ早めに自国の日本国大使館・領事館に受験のための「短期滞在査証（ビザ）」を申請してください。なお、早稲田大学が「短期滞在査証（ビザ）」取得手続きの際の「招へい人」「身元保証人」になることはできません。
- ⑤ 受験上の注意事項については、p.12を熟読してください。

3. 入学手続

入学手続きは所定の期間内に、入学手続料（登録料*・第一期分の学費・諸会費）の納入と入学手続書類提出の両方を完了することにより完了します。

*「登録料」は、入学者に限り「入学金」に振り替えます。

(1) 入学手続締切日

| 期 | 入学時期 | 入学手続料支払い締切 | 入学手続書類提出締切 (必着) | 入学手続書類送付時期 |
|----|---------|---------------|--------------------|------------------------------|
| Ⅱ期 | 2027年4月 | 2026年12月4日(金) | 2027年2月12日(金) | 10月に入学手続料の案内、 1月末に二次手続き案内 |
| Ⅲ期 | 2027年4月 | 2027年2月12日(金) | 2027年2月12日(金) | 合格者発表と同時 |
| | 2027年9月 | 2027年7月16日(金) | 2027年8月16日(月) 予定 | 6月に入学手続料案内、 7月末に二次手続き案内 |

(2) 入学手続書類

- ① 学費等振込領収書のコピー
- ② 住民票の写し
- ③ 卒業証明書、成績証明書（学歴に記載した全ての大学） **原本**
- ④ 修了証明書または在籍証明書（大学に非正規生として在籍していた場合のみ） **原本**
- ⑤ TOEIC の認定証（出願時にデジタル公式認定証を提出しなかった場合のみ） **原本**
- ⑥ 研究倫理に関する誓約書

【中国の大学出身者のみ提出】

・学位取得証明書（学歴に記載した全ての大学） **原本**

出願時に、本入試要項記載の出願資格を満たすために大学院入学資格取得見込の証明書を提出された方につきましては、入学手続時に、その資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格されても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない（大学院入学資格を満たすことができない）場合は、入学を認められませんので注意してください。

一度提出した書類および納入した登録料、学費・諸会費（第一期分）は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費（第一期分）のみ返還の対象となります。また、複数の研究科から入学を許可された場合、本人からの申し出により、先に入学手続きを行った研究科に納入した入学金、学費・諸会費を入学希望研究科の費用に振り替え、入学研究科を変更することができます（ただし、入学手続期間が重ならない研究科間に限ります）。

手続方法の詳細は、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

(3) 留学ビザ

入学後の留学ビザ手続き、必要書類等の詳細については【別紙 4】「在留資格「留学」の取得について」をご参照ください。

出願時に入学時以降まで有効な在留資格を有していても、個々の事情により、入学後の在留資格の更新・変更が許可されない場合があります（現在保持している在留資格の根拠となる活動を、正当な理由なく継続して3ヶ月以上行っていない場合など）。入学後の在留資格更新・変更の取得については、本学は一切保証できません。必ず出入国在留管理局に確認し、各自の責任において出願してください。

フィリピン/ベトナム/インドネシア/ネパール/ミャンマー/中国の国籍を有する志願者は、在留資格認定証明書（COE）の申請時に、通常の申請書類に加えて、結核を発病していないことを証明する「結核非発病証明書」の提出を求められます。国によって適用開始時期が異なりますので、対象国の国籍を有する方は、以下の資料で詳細を必ずご確認ください。

<https://www.waseda.jp/inst/cie/news/40765>

(4) 入学金・学費・諸会費

2027年4月入学の場合

(単位：円)

| 年度 | 納入期 | 入学金 | 学費 授業料 | 諸会費 | | | 学生健康増進互助会費 | 合計 |
|-----|-------|---------|-----------|-------|-------|-------|------------|----------------|
| | | | | 学会費 | 学友会費 | | | |
| | | | | 会費 | 入会金 | 会費 | | |
| 初年度 | 入学時 | 300,000 | 335,000 | 1,000 | 1,000 | 1,250 | 1,500 | 639,750 |
| | (春学期) | | | | | | | |
| | 秋学期 | - | 335,000 | 1,000 | - | 1,250 | 1,500 | 338,750 |
| | 計 | 300,000 | 670,000 | 2,000 | 1,000 | 2,500 | 3,000 | 978,500 |
| 2年度 | 春学期 | - | 485,000 | 1,000 | - | 1,250 | 1,500 | 488,750 |
| | 秋学期 | - | 485,000 | 1,000 | - | 1,250 | 1,500 | 488,750 |
| | 計 | - | 970,000 | 2,000 | - | 2,500 | 3,000 | 977,500 |

*2027年度以降の学費・諸会費は改定となることがあります。

*早稲田大学以外の出身者は標準修業最終学年最終学期（2年次）に学費・諸会費として校友会費40,000円（年額5,000円の10年間分を前納割引）を徴収します。

*本学、本学大学院または専攻科の在学、卒業、修了または退学者が入学する場合、入学金が免除されます。詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

(5) 奨学金制度

詳細については、入学手続の手引きとともに案内する「[奨学金情報 Challenge](#)」等を参照してください。

なお、外国人留学生の方は奨学金制度が異なりますので、以下のWebサイトより留学センターの情報を参照してください。

<https://www.waseda.jp/inst/cie/life/aid>

(6) 教育職員免許状

本研究科修士課程では、次に挙げる教科の教育職員免許状を取得できます。これらの免許状を取得するためには、取得を希望する各教科の第1種免許状を取得している（または、取得見込みである）ことが必要です。各免許状の取得要件等詳細は、本研究科事務所にお尋ねください。

中学校教諭専修免許状：社会

高等学校教諭専修免許状：商業、公民

*本研究科では、高等学校教諭専修免許状「地理・歴史」の課程認定を受けておりません。

4. 受験上の注意事項

- ・ 基本的な感染予防対策（手洗い等の手指衛生や咳エチケット等）を徹底してください。なお、本学ではマスクの着用は個人の判断に委ねます。
- ・ 学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督員への感染の恐れがあるため、受験をご遠慮ください。
- ・ 上記に該当しない場合でも、試験当日までに発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医等に相談のうえ、当日の受験を見合わせる等、その指示に従ってください。
- ・ 欠席した場合でも、本学が特別な対応を公表した場合を除いて、追試験の実施や検定料の返還は行いません。
- ・ 試験当日は救護所に医師が待機しており、診察を受けることが可能ですので、必要に応じてご利用ください。試験中に体調が悪くなった場合には、その旨を監督員に速やかに申し出てください。また、体調不良が疑われる受験者に対して、監督員が救護所での診察を促す場合もあります。ただし、移動や診察等にかかる試験時間の確保・延長はありませんので、注意してください。

本学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、適切な受験環境の保持に努めています。本学入学試験の受験に際しては、以下に定める注意事項を熟読のうえ、真摯な態度で試験に臨んでください。

1. 本学に提出した書類・資料、提供した情報等（以下、「本学提出書類等」といいます。）に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。
2. 次のことをすると不正行為認定の対象となります。
 - ① カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、答えを教わる、身体、物品、机等にメモをする、メモを見るなど）。
 - ② 試験時間中に使用できる物品以外の物品を使用すること（机上に置くこと、身に付けることを含む）。
 - ③ 監督員による「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白等）に書き込みを行うなど）。
 - ④ 監督員による「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
 - ⑤ 試験時間中に、答えを教える等他の受験者を利するような行為をすること。
 - ⑥ 試験時間中に電子機器等の音（着信・アラーム・振動音等）を鳴らすこと。
 - ⑦ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑧ 試験場において監督員等の指示に従わないこと。
 - ⑨ 受験者以外の者が受験者本人になりすまして試験を受けること。
 - ⑩ 解答用紙を持ち帰ること。
 - ⑪ その他、試験の公平性・公正性を損なう行為をすること。
3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。
 - ・ 監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
 - ・ 別室または別席での受験を求めること。
 - ・ 本提出書類等につき、その真正性等を確認するために、本学が発行元・提供元または論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。出願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとす。

4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとります。

- ・ 当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
- ・ 当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき入学取消とします。

大学が極めて悪質かつ重大であると判断した不正行為については、警察への通報や不正行為者の在籍（出身）大学・保護者等への報告を行う場合があります。

本学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。あらかじめご了承ください。

◆受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ① 生活騒音（自動車・航空機・風雨・換気・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。また、試験中に監督員が小声で最低限の打ち合わせを行う場合がありますが、この場合も原則として特別な措置は行いません。
- ② 試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
- ③ 隣席の受験者の手洗いや、体調不良による入退室のため、監督員の指示により席を立っていただくことがあります。その場合でも、原則として試験時間の延長等特別な措置は行いません。
- ④ 机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ⑤ 他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室または別席での受験を求めることがあります。
- ⑥ 受験者の周辺より異音等が確認された場合、詳細を確認するため、監督員等が座席付近を重点的に巡回したり点検したりすることがあります。

◆不可抗力による事故等

台風、洪水、地震、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻および終了時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

<受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合>

障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本研究科までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問合せください。

早稲田大学大学院商学研究科（入試係）

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学大学院商学研究科（早稲田キャンパス 11 号館 3 階）

TEL 03-3202-4369（お問合せ時間：月～金 9 時～17 時）

E-mail gsc-ad@list.waseda.jp FAX 03-5273-4371

<https://www.waseda.jp/fcom/gsc/applicants/admission/master>